



Google Pixel 3 XL 開口方法

これは必須条件ガイドです！このガイドは他のガイドの一部にもなり、単体で使用されることはありません...

作成者: Arthur Shi



はじめに

これは必須条件ガイドです！このガイドは他のガイドの一部にもなり、単体で使用されることはありません。

Google Pixel 3 XL のガラス製バックパネルを取り出して交換する修理ガイドです。



ツール:

- [iOpener](#) (1)
- [ハンドル付き吸盤](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [ピンセット](#) (1)



部品:

- [Google Pixel 3 XL バックカバー用接着剤—純正品](#) (1)

手順 1 — バックカバーの端を温めます



- [iOpenerを温めて](#)、バックパネルの右端に約1分間載せます。

- ⓘ ヘアドライヤー、ヒートガンやホットプレートでも対応できますが、デバイスをオーバーヒートしないようにご注意ください。内蔵バッテリーは熱によるダメージを受けやすいです。
- 待機中、バックカバーの注意すべきエリアを確認してください。
 - 強力な接着力エリアーデバイス底付近の接着剤には、大型パッチが使用されています。
 - 指紋センサーケーブルーケーブルの下の接着剤をスライスして切開する際に、切断しないようにご注意ください。

手順 2 — バックカバー下に隙間を作ります



- 吸盤カップをバックカバーの温めた端の付近に取り付けます。
- 吸盤カップを強く一定の力で引き上げて、隙間を作ります。
 - デバイスの使用期間にもよりますが、この作業は難しいでしょう。作業が上手く進まない場合は、端を再度温めてから再試行してください。
- オープニングピックの先端を隙間に差し込みます。

手順 3 — 右端接着剤を緩めます



- オープニングピックを右端に沿ってスライドして、接着剤をスライスしながら切開します。
- 接着剤は固まり、冷却されるとスライスが難しくなります。この場合、再度端を温めてスライスしやすくします。
- 端全体をスライスしたら、接着剤が再装着するのを防ぐため、オープニングピックを隙間に残しておきます。

手順 4 — バックカバー下側端を温めます



- 温めたiOpenerをバックカバーの下側に沿って、約1分間載せます。

手順 5 — 下側の接着剤を切開します



- 開口ピックを使って、下側右端コーナー周辺の接着剤を切開し、続けてデバイスの下側端全体に沿ってスライドします。
- ❗ コーナーをスライスする際は、パネルを割らないよう慎重にゆっくり進めてください。スライド作業が難しくなった場合は、熱を再度当ててください。
- ピックを下側端に残して、接着剤の再装着を防ぎます。

手順 6 — 本体残りの端をスライドします



- 続けて、デバイス残りの端を温めて、スライドして接着剤を切開します
- デバイス左側端に沿ってスライドする際はご注意ください。オープニングピックが詰まっている感じがしたら、指紋センサーに絡まっている可能性があります。ピックを隙間からゆっくりと取り出して、再試行してください。
- デバイスの右側端と下側端付近で、接着剤が厚い部分についてもしっかりと切開してください。

手順 7 — 残りの接着剤を切開します



- バックカバーの右側端を慎重にこじ開けます。
- オープニングピックを使って、端に沿って残っている接着剤を全て切開してください。

手順 8 — バックカバーを開きます



- 本をめくるように、バックカバーの右端を、左側に沿ってめくります。

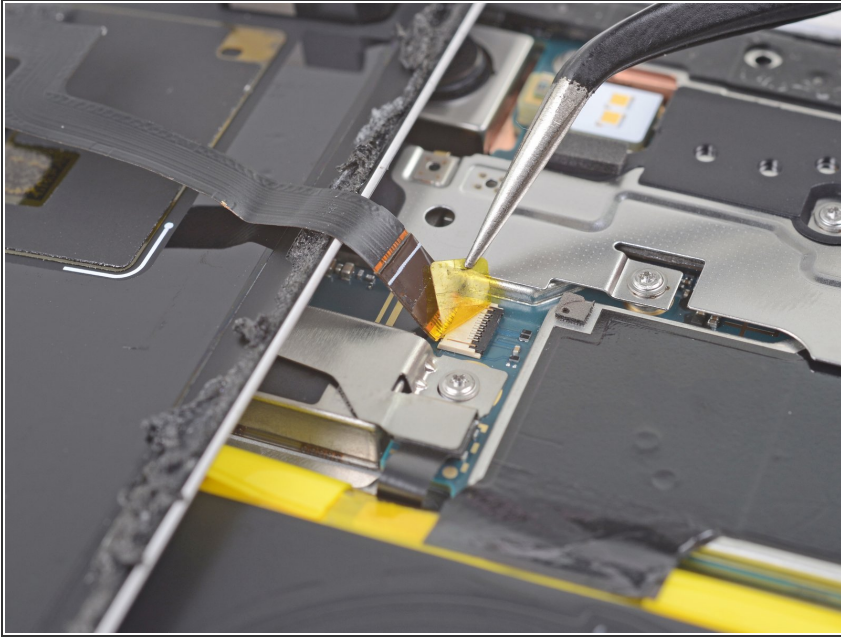
 指紋センサーケーブルを挟まないように気をつけてください。

 再組立ての際は、デバイスの電源を入れて、機能が回復しているか確認してから閉じて密封してください。作業を再開する前に、必ず電源を完全に切ってください。

 再組立ての際は、この[ガイド](#)に従って、カスタムカットされた接着剤をバックカバーにインストールしてください。

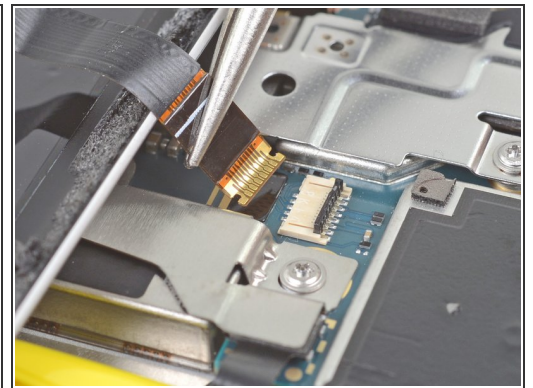
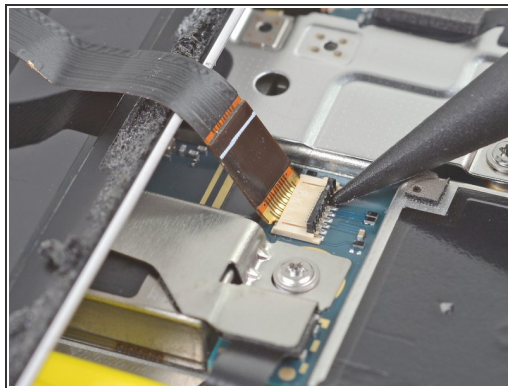
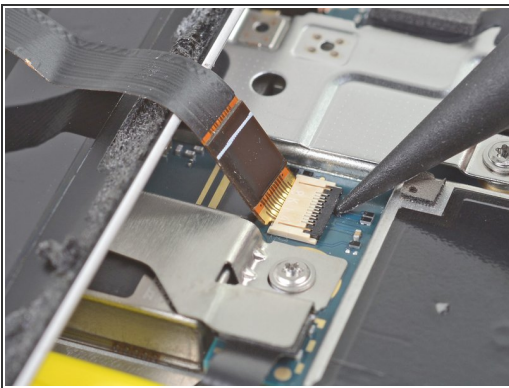
 指紋センサーを交換した場合は、[このソフトウェアツール](#)を使用して、新しいセンサーをデバイスに認識させる必要があります。

手順 9 — 指紋センサー用テープを剥がします



- ピンセットを使って、指紋センサー用コネクタ上に貼られた黄色のテープをゆっくりと剥がします。

手順 10 — 指紋センサーの接続を外します



- スパジャラーの先端を使って、指紋センサーのZIPソケット上の黒いロックバーを持ち上げます。
 - ケーブルのタブを、指先もしくはピンセットでつまんで、ゆっくりとフレックスケーブルをソケットからずらしながら外します。
- ⓘ ショートを防ぐため、ピンセットでフレックスケーブル上のメタル製コンタクトに触れないようご注意ください。

手順 11 — バックカバーを外します



- バックカバーを外します。

★ [このガイドを参照して](#)、新しいバックカバーの接着剤を正しく装着してください。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。